

今後の予定

5月22日(土)	カフェさくさぽ～SDGs～(仮)
6月12日(土)	NPO 初歩講座「地域活動の先輩から学ぶ!」第1回(仮)
4月15日(木) 5月20日(木) 6月17日(木)	おしゃべり会 いずれも13:30~15:00 毎月第3木曜開催!

※タイトルや内容、開催時期は変更となる場合があります。
開催日時等の詳細は決定次第、さくさぽフェイスブックページ・ホームページ・さくさぽ窓口で順次、発信・告知します。
参加の際は、電話もしくはメールでの事前申し込みをお願いします。

さくさぽアルバム



【ゆるいおしゃべり会】
健康の秘訣は好奇心!さくさぽ
Wi-Fi環境を活用しオンライン会議



【市民活動×笑顔】写真展
野沢会館1階の市民ギャラリーで
写真展を開催しました!



【うすだ健康館発
こころづもりゲーム】
カードを選択しながら大切に
したい自分の生き方に気付く。



【パステリーナライン
@木もれびサロン】
気軽にパステル画にチャレンジ♪
シニア世代にも好評です。



さくさぽ

佐久市の市民活動を
もっと楽しく!
35号
編集・発行
佐久市市民活動
サポートセンター



「えんがわぼっこ」

「市民活動 × 笑顔」フォトコンテストと写真展を開催

佐久地域の市民活動をもっと広く皆さんに知っていただくために、「市民活動 × 笑顔」をテーマにフォトコンテストと写真展を開催!募集したのは、過去3年間に撮影された市民活動での笑顔の写真。コロナ禍の中、感染対策を工夫しながら活動を続けてこられた方々においては、その笑顔が続きますように。熟慮の上で活動を休止されている方々においては、またみなさんの活動に笑顔が戻りますように。そんな願いを込めて企画しました。応募いただいた12作品の中からグランプリに選ばれたのは、「えんがわぼっこ」の一枚です!「目を見て会話している様子がほっこり」「自分も数十年後、こう生きていたい」などの選評コメントが。えんがわぼっこの活動について詳しくは内側のページでもご紹介しています。

その他入賞作品のご紹介



＜次世代賞＞
「いこい処ひまわり」
さくさぽに来館した中高生による投票で選びました。子育てママが集う場づくりをしている団体です。お母さんと赤ちゃんの笑顔が素敵!



＜共感賞＞
「福祉ボランティア・珈琲ボランティア連絡協議会」
さくさぽ Facebook ページで写真を紹介した際に、「いいね!」のリアクションが一番多かった写真。

写真大募集! 追加募集のお知らせ

今回募集期間が短かったため、追加募集を行います。追加募集の締切は2021年6月30日までです。8月に開催予定のイベントとあわせて、再度写真展の開催を予定しています。
＜応募規定＞
自団体の市民活動において撮影された、笑顔の写真であること。佐久地域で活動する市民活動団体であれば、どなたでもご応募いただけます。ぜひ「とっておきの一枚」を送ってください。詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

季節の話題
M・作
「浦島太郎」

小学校のころ学芸会という行事がありました。季節は春うららの頃、父兄を招いて合唱や楽器演奏など色々な芸を披露、メインイベントは6年生の全クラス合同の演劇で演目はおとぎ話が多かった。我々が演じたのは浦島太郎、「浦島太郎は子供から亀を助けた報恩として竜宮城で乙姫らの歓待を受ける。帰りに開けるなど念を押された玉手箱を開けると白髪の老人に化する。」というあらすじです。浦島太郎が竜宮城に行つて過ごした数週間に、地上では数十年という時間が過ぎていたという物語は「浦島効果」なる言葉を生んだり、1980年代のドラえもんでは相対性理論の解説を入れた竜宮城の物語まで作られました。このおとぎ話の素晴らしさが現代でも生きていますね。さて、私共の学芸会ですが、私は浦島太郎として演じる夢まで見ました。でも、その心配はなく、候補にも上らなかつたようです。浦島太郎は2組の秀才でイケメンのY君になり、私は亀でもなく亀をいじめる悪童その3でした。衣装は家の寝間着(和風)で裸足、セリフは一言「僕たちの亀だ!」。それでも母は喜んでいたので、セリフも忘れません。

機関紙についての感想・ご意見はこちらへお寄せください↓ ※記載の情報は2021年2月時点の情報です

編集・発行
佐久市市民活動サポートセンター
〒385-0043 長野県佐久市取出町183 野沢会館2階
開館時間:9時~20時・月曜休館(祝日の場合は翌火曜休館)

TEL: 0267-64-6362 FAX: 0267-64-6363
Eメール: sakusapo@sakunet.ne.jp
ホームページ: http://www.sakusapo.com/
Facebook: https://www.facebook.com/sakusapol



ホームページ Facebook

写真展は2月6~20日まで、野沢会館1階の市民ギャラリーで開催しました。

イベントレポート

12/10 カフェさくさぽ 「10年後の佐久を考える～環境編～」

前半は「自然エネルギー佐久地域協議会」沖津博人さんによる地球温暖化の現状や佐久の自然エネルギーについての講演。後半のワークショップでは、環境にやさしいまちづくりで実現したい事、私たちができることは何かをグループごとに話し合いました。公共施設はすべて太陽光発電に、エネルギーも地産地消など、様々な意見がでました。



グループワークの様子

1/16 地域の先輩に聞いてみよう! つづく活動にはコツがある!

ゲストは他ボランティア団体とともに佐久平駅前市民交流ひろばを管理されている、NPO法人「さくのわ花物語」代表の平林豊時さん。自主財源を生むための取組み等についてお話を伺いました。活動がつづくコツは「仲間で目的を共有し、支え合ってやる気を持ち続けること」。センター長山室のNPO講座も好評でした!



野沢会館からオンライン配信しました

※1月は新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが上がったため、やむなく講座をオンライン開催に切替えました。講座の内容にご関心がある方は、ぜひお気軽にお問合せください。さくさぽにて資料および記録動画をご覧いただけます。

さくさぽの本棚から



『コロナ移住のすすめ ~2020年代の人生設計~』 著者：藻谷ゆかり

著者自身が長野県への移住をした経験も含めて、今の時代ならではのリアルな暮らしを体型的に知ることができる一冊です。コロナ禍でさらに加速する一極集中から地方への流れ、みなさんの周りにもU・I・Jターンなど検討されている方の参考に、楽しいことだけでは無い厳しい現実も語られているので、身近な誰かを思い浮かべながら是非ご一読ください。

11月、塩尻市での乗り合いタクシー(9人乗り)実証実験を体験してきた。塩尻駅に向かう列車の中で、予めスマホにダウンロードしておいたアプリ「のりー」と「から、出発と到着の停留所と時刻を指定して予約する。駅を降りるとタクシーが迎え、無事目的の公共施設まで移動できた。午後は郊外のワイン醸造所の往復にも利用、他の高齢のお客さんとも相乗りになり、運転手さんともども会話も交わした。行きたいところにストレスなく移動でき大満足の一日だった。

私は佐久市でも公共交通機関を移動に利用しているが、不便さは否めない。一昨年のカフェさくさぽでの意見交換でも、市民には諦め感が漂っていた。しかし、Maasは地域の持続的発展の希望の光だ。その普及効果は、高齢者の生活、健康の維持、若者の定住などにもつながる。導入にあたり課題は多くあるが、一刻も早く仕組みが実現できたらと思うのは私ひとりだろうか。

1/23 コミュニティ マネジメント講座

「強くあたたかい組織をつくる～理念・ビジョンの共有～」をテーマに、NPO法人CRファクトリー代表の呉哲煥さんを講師にオンラインで開催。今まで通りの活動が難しい今こそ、「自分の団体の理念とは?」「どうビジョンを仲間と共有できるか?」参加者でワークをしながら学びました。「理念に立ち戻れば、活動の形を変えてできることがあるかもしれない。困難な時期でもコミュニティ活動を続けて欲しい」呉さんからの応援の言葉です。



自宅からZoomでオンライン講座に参加

市民活動クローズアップ

新型コロナウイルスに負けない!佐久地域発の元気な市民活動をご紹介します。みなさんの周りではどんな活動がありますか?ぜひ、さくさぽまで情報をお知らせください!市民活動に関するご相談も、随時受け付けています♪

『佐久のわ(輪・和)を編む会』～手編みのあたたかさで被災地に笑顔を～

東日本大震災をきっかけに、寄付された材料で衣服を手編みし販売。その売上金を、被災地に手渡しで届けています。2012年から活動を始め、去年は佐久市へ30万円を支援、今年1月には長野市の加藤市長へ20万円と座布団100枚を手渡し。「毛糸や布を寄付された方への〈ありがとう〉の気持ちを大事に、活動を続けていく」と話す代表の田中さん。編み物を通じた仲間づくりの場にもなっています。

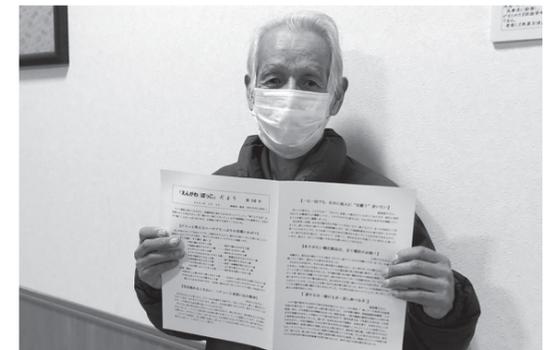
【代表】田中千世子さん(0267-62-1019)



『えんがわぼっこ』～仲間の繋がり再確認「寄せ書きお便り」～

2014年から地域で支えあう居場所づくりを続けています。普段は臼田老人福祉センターを拠点にしていますが、コロナの感染拡大で活動ができない時期は、仲間の家を一軒一軒訪ね、お便りを配ります。活動が新聞で紹介され、代表の湯浅さんのもとへ、仲間から感謝の手紙や近況報告が届くようになりました。届いた手紙をお便りに掲載し届ける。それを見た他の仲間が、また手紙を書く。気づけば参加型のお便りに。「皆さんの自主的な気持ちにまかせています」と湯浅さん。

【代表】湯浅道夫さん(090-9152-0669)



市民活動団体とは?

市民の自主参加で活動に取り組む団体のことです。NPO法人、区等の自治会、PTA等の組織、趣味の会やサークルも含まれます。佐久市の市民活動団体として登録すると、行政など幅広い層に活動を知ってもらえます。登録ご希望の方はさくさぽまで! (現在の登録団体数: 209団体)



地域の「足」を
変容させる「MaaS」

センター長
山室のじゅんやき